

使っている花 ■ マム(ヘッジホッグ、マルベリー)、ケイトウ(シルフィード)、紅葉ヒペリカム

9月
September



マム

花言葉 高貴/あなたを愛します

「重陽の節句」や中秋の名月を楽しむ
マムが主役のシーズンスタート

プロが伝授!花を長く楽しむアドバイス

- 花首がしっかりしたもの、葉も瑞々しく鮮度の良いものを選びましょう。
- バクテリアに強く水だけで美しく咲きますが、切り花栄養剤を使用することで、色鮮やかに大きく咲き、いっそう長く楽しめます。
- 切り花栄養剤を入れて抗菌しても水は汚れやすいので、3日に一度の頻度で水替えし、茎を切り戻しましょう。水替え後も切り花栄養剤を使用するのが理想です。

お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ① 器の半分くらいまでに水と適量の切り花栄養剤を加えます。紅葉ヒペリカムの枝を小分けにカットし、水に浸かる部分の葉を取り除きます。マムとケイトウも同様に下葉を取り除きましょう。
- ② 器の手前に紅葉ヒペリカムの小枝をいけて、中央に2種類のマムをこんもりとあしらっていきます。
- ③ マムの左右、奥にケイトウの穂が見えるようにいけ、紅葉ヒペリカムの小枝もアクセントにプラスしていきます。洋風のシックなお月見アレンジに!

月が美しい季節はマムの季節

日本は世界一の生産量と消費量を誇るマム(=キク)大国。旧暦9月9日は「重陽の節句」、菊を愛で、菊酒や菊の香りをまとい不老長寿を願いました。抜群の花持ちの良さと豊富なバラエティが魅力。昨今の人気は豪華な大輪系のディスパッドマムや、洋花とも相性がよいポンポン咲きの品種。中秋の名月にも秋の草花とともにしっとりとマムを飾って。

